

平成25年度第2回 国土交通省東京航空局 入札監視委員会  
審議概要

開催日及び場所	平成25年11月27日(水) 国土交通省航空局C会議室	
委員	委員長 浅野 正一郎(国立情報学研究所名誉教授) 委員 廣渡 鉄(弁護士) 委員 高田 和幸(東京電機大学教授)	
審議対象期間	平成25年4月1日～平成25年9月30日	
抽出案件	総件数 3件	
工事	一般競争	1件
建設コンサルタント業務等	一般競争	1件
役務及び物品等	一般競争	1件
各委員からの意見・質問、それに対する東京航空局の回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし	

審議概要

質疑等	回答
<p>1. 役務の提供等(一般競争入札方式)</p> <p>「パーソナルコンピュータ(ノート型)455台他7点の賃貸借」について</p>	
<p>○調達したPCは汎用品か。</p> <p>○対応可能な会社が多数あるのではないか。</p> <p>○なぜ入札に参加したのは2社なのか。</p> <p>○セットアップは納入場所で行ったのか</p> <p>○辞退した会社からヒアリングを行ったか。</p> <p>○セットアップに対応できる会社が少ないのか。</p> <p>○東京航空局独自のセキュリティはあるのか、また、運用面でのサポートはあるのか。</p> <p>○なぜ30月なのか、30月では金額的に高いのではないか。</p> <p>○何月であっても、総価は同じになるのではないか。</p> <p>○30月後は再リースするのか。</p> <p>○本省は何年で契約しているのか。</p>	<p>○汎用品である。</p> <p>○仕様書を配布したのは18社である。</p> <p>○納入官署が東日本の広範囲であることと、セットアップを条件としたことが原因と思慮する。</p> <p>○納入場所である。</p> <p>○行っていない。</p> <p>○現地でのセットアップが困難なようである。</p> <p>○どちらも無い。</p> <p>○当初、36月の予定であったが、各官署の台数を精査するのに時間を要したことから30月とした。</p> <p>○遅れた6月は格安で再リースした。</p> <p>○それは行わない。</p> <p>○本省は別方法での契約なので解らないが、平成28年度から他のPC等の契約を統合し一本化するために今回36月(当初予定)としたものである。</p>

質疑等	回答
<p>2. 工事(一般競争入札方式)</p> <p>「東京国際空港取付誘導路等舗装補修工事」について</p>	
<p>○施工体制を評価して落札者を決定する方式であるのに、B者の施工体制を評価していないのは何故か。</p> <p>○開札後にヒアリングしないと、判らないものなのか。</p> <p>○同種工事と類似工事の違いは何か。</p> <p>○滑走路等をやっていないなくても類似工事には入るのか。</p> <p>○そういう経験実績に基づくノウハウがないとなかなか入札価格を引き下げることができないと言えるのか。</p> <p>○A社と同規模の業者は多くないのか。</p> <p>○2社しか応札者がいなかった原因は分析されているか。</p> <p>○空港に関する工事が重なったということか、それ以外の工事も重なったのか。</p> <p>○空港工事発注は時期を選べるわけでもないので、2社しか応札者がなかったということは、時期的、タイミング的なことでもやむを得ないと分析されているということか。</p> <p>○施工時間が深夜であるが、その分価格の上乗せはしているのか。</p> <p>○山梨県が入っていて福島県とその辺が入っていない理由は何か。やはり近くないといけないのか。</p>	<p>○施工体制確認は、予定価格の範囲に入っている者に対して行っています。開札後に対象者にヒアリングして評価しています。</p> <p>○施工体制は、価格の算定の中で具体的に決まってくるものなので、入札価格が決まらないと評価できないものと思われま。価格を積み上げていない段階でどんな施工体制で行うかはまだ決まっていないと思います。</p> <p>○類似工事は、供用中の空港制限区域内での面積10,000㎡以上の舗装工事、同種工事は、供用中の空港制限区域内での滑走路、誘導路の22,000㎡以上、より同種性の高い工事は、27,000㎡以上の実績があるものと設定しています。</p> <p>○はい。</p> <p>○そう言えると思います。</p> <p>○今回の10,000㎡以上の舗装の実績者は45者位います。</p> <p>○前年度に実施した同様の工事では6～7者の応札がありました。今年は他工事の発注状況が多い時期に重なり、発注量が全体的に多くなると配置予定の技術者が不足することとなるため応札者が少なかったものと考えています。</p> <p>○空港以外にも道路関係、高速道路関係が今年度当初から発注量が多くなってきているようです。</p> <p>○はい。</p> <p>○積算上で夜間の割り増しをしています。</p> <p>○通常は当該県としているが、関東においては、関東一円に拡大して境界を設定しています。工事状況、施工性とか災害調達等を含めると、近いところの方が優位と考えています。</p>

審議概要

質疑等	回答
<p>3. 建設コンサルタント業務等(一般競争入札方式) 「東京国際空港C滑走路中心線灯改良その他工事等監督補助業務」について</p>	
○応札可能な者は何者あるのか。	○8者あります。
○今回1者応札となったことの分析は。	○資料を取りに来たのは2者あったが、応札参加は1者でした。 他業務受注状況により、業務実施体制が整わなかったため他者は応札出来なかったのではないかと推測します
○本業務の概要は。	○当局職員が実施する工事監督の補助業務です。
○経費の殆どは人件費ということか。	○そのとおりです。
○応札が複数者あったとしても入札価格に差はつきにくいということか。	○そのとおりだと思います。